

5月介護アクション しゃべり場&上野駅宣伝

2022年5月8日(日)介護よくするアクション月間の取り組みとして、東京ヘルパー労働組合と合同で介護のしゃべり場を日本医療労働会館にて開催しました。5組合13名の参加で介護現場の実態について交流しました。その後、上野駅広小路口にて介護署名の宣伝行動も行いました。



↑介護のしゃべり場の様子↓



介護職の受けたい介護と介護現場の現実 ケアの質向上には人員確保とシステム改善

しゃべり場では、介護職が受けたい介護を出し合いながら、現実の介護現場の実態が交流されました。その中では、訪問介護の枠でできることが少なくなっており、その人らしい生活を支えることが難しい制度になっていることなど、実際の経験からどのような制度改善が必要なのか話がされました。

一方で、とにかくケアをこな

す事が中心となってしまうとケアの質が低下してしまうことや現場で学ぶことに対して教育環境が整っていないことなど、ケアの質に関する議論も。そこで他職種が連携したチームケアの成功例も共有され「そんなことができるんだ」と新鮮な受け止めにもなり、非常によい交流となりました。

上野駅“トークショー風宣伝”



上野駅前宣伝 トークショー風宣伝で注目 信号待ちの人から熱視線

しゃべり場終了後、上野駅広小路口で宣伝行動を行いました。宣伝行動には5組合16名が参加。道行く人に聞いてもらえるようにという工夫として、宣伝原稿を読むのではなく、介護現場の組合員に質問をして答え

てもらおうという“トークショー風”の宣伝を実施。マイクを握った現場組合員も自分の言葉で発信できました。中には、信号待ちで宣伝をじっと見つめ応援の言葉をかけてもらうこともありました。



介護アクション
ツイッターデモ

5/13

介護職の誇りと誇りを
社会に向けて発信
します

#介護アクション
#介護に笑顔と希望を
#なくせワコバ運動

Twitter デモ アンケートで多くの声

今回の介護アクションでも Twitter デモを実施しました。名刺型で QRコードからも回答可能なアンケートに多くの声が寄せられ東京医労連の公式 Twitter アカウントにて発信しました。

エプロン

住所：台東区入谷1-9-5
日本医療労働会館 6階
電話：03-3872-7191 FAX：03-3876-3173
E-Mail：mail@tokyo-iroren.net

第10号 2022年3月18日 発行

講師の森永伊紀さん



3月13日(日)13:00～医療労働会館2階会議室にて～介護で働くあなたのための～ヘルパー講座を行いました。
参加は3組合9名。第6回のテーマは、全国から集まった1,000の事例からいくつかをピックアップしての事例検討会。講師は全国ヘルパー連絡会事務局の森永伊紀(よしのり)さんをお呼びしました。自身も世田谷区職のヘルパーとして勤務していますが、介護保険制度開始当時は600名程いた世田谷区職ヘルパーも現在は84名程となり、欠員不補充でいずれは無くされていく事が決まっています。「ヘルパーはゴミを見て生活を知る」として、ホームヘルパーの観察・見極めと働きかけという言葉が職場に浸透し仕事を発展させてきた。

「人間だから好き嫌いはある。嫌な人でも、その人に興味を持つ。なぜそうなるのか？なぜそうするのか？を考えるのが介護職としての専門性」とお話がありました。参加者からは「現場に出る前に受けたい講義内容でした」や「現場で出る愚痴を嫌だと思っていたが、愚痴を出し合う事も重要だと感じた」「普段行っているケアの振り返りが大切だと改めて思った」などの意見交換を行いました。介護士が集まる場を作り、様々な想いを共有する事の重要性を改めて感じました。講座を継続し、つながりを作りたいです。



↑講義の様子

お土産の桜餅

ヘルパー労組の“のほり旗”が出来ました♪

春闘3・10産別統一闘争に参加し、のほり旗を初お披露目しました。執行委員長の有賀さんから、訪問ヘルパーの実態を発言しました。



3・10新宿南口にて

次回の第7回講座は・・・

KYT～危険予知トレーニング～

4月10日(日)13:30～15:30

医療労働会館2階会議室

どこに危険が潜んでいるのか？

事故予防対策として、利用者さんの

生活の場の安全面を考えるトレーニングです。

是非ご参加下さい(^▽^)

月替わりお土産は・・・

トウモロコシ
韓国のマカロンです

(前回のニュースが間違っていました。すみません。前回は桜餅でした。上記写真)

第7回ヘルパー講座 開催

KYT 危険予知 トレーニング



4月10日（日）13：30から日本医療労働会館2階にて、「介護ではたらくあなたのためのヘルパー講座」を開催しました。第7回目のテーマは「KYT～危険予知トレーニング～」。講師は、東京健生病院の放射線技師で、セーフティマネジャーを兼任している鈴木正晴さんです。参加は2組合8名でした。

人は失敗する生き物 システムで事故を防ごう

講義の冒頭、人がどうしてミスをするのか、事故はどのような場合に起こるのか、が説明されました。不安全な環境と不安全な行動が重なっている時に事故が起こる可能性が高く、どちらかでも安全であれば、事故の確率はかなり低くできるというデータを示しながら、個人を責めるのではなく、システムで防ぐという考え方が大切。だからこそ、インシデント報告書は財産と考えていくべきと話されました。

一緒に実践！ どこにどんな危険がある？

KYT（危険予知トレーニング）の大切さを共有した後、介護現場や窓掃除のイラストを見ながら実際に参加者で実践しました。「ポットのコードで転びそう」「車椅子で前傾姿勢の強い利用者が危ない」「テーブルの高さ的に膝がぶつかりそう」など、様々な視点から意見が出されました。



講師の鈴木正晴さん



「月替わりおやつ」も大好評でした

それぞれの悩みから 理想の介護まで…交流大盛況

講義の後は、ディスタンス茶話会。「うちの事業所ではこんななのよ～」「私のところはこんなだった～」と自己紹介と実態交流をしました。「昔は、介護でなんでも出来た。今は制度に縛られてしまって…利用者の希望に応えられる介護制度にしたい」と、思いも語られました。

第8回 ヘルパー講座テーマ

介護だよ！全員集合！

5月8日（日） 13：30～15：30

日本医療労働会館2階会議室 AB

介護の大変さやうれしかったあれやこれを感じる存分おしゃべりしましょ♪

ヘルパー講座後に、介護の署名宣伝行動を予定しています。こちらもぜひご参加ください！

エプロン

住所：台東区入谷 1-9-5
日本医療労働会館 6階
電話：03-3872-7191 FAX：03-3876-3173
E-Mail：mail@tokyo-iroren.net

第12号 2022年5月13日 発行

介護だよ！ 全員集合！！

5・8

しゃべり場→



お土産の柏餅



5月8日(日)13:30から医療労働会館にて、第8回のヘルパー講座として【介護のしゃべり場】を行いました。参加は5組合13名。“自分だったらどんな介護を受けたいか？”や“困っている事”、その他なんでも言いたい事を話し合いました。「自分はこの場所で話ができるから良いが、他の人はどこにも言えないと思う。登録ヘルパーは横のつながりが本当に無い」

「利用者本人だけではなく家族のケアが必要な事も多い。自分の経験からそこをやってあげたいのに現状の制度内ではできないのが歯がゆい」「声を出せば職場に居づらくなって辞めざるを得ない」など、1時間45分があっという間に過ぎるしゃべり場となりました。

その後、“見せましょ！署名の力”の学習会を行い、上野駅前に移動して“介護保険制度の抜本的転換を求める請願署名”と“都立病院独法化中止”の署名を集めました。参加は5組合16名。日本医労連や東京地評・全日本民医連からも参加がありました。政府が介護職に出すと云った1人9,000円の補助金、「私はゼロ円」「私は7,000円」などの手作りゼッケンを着けて宣伝行動を行いました。



署名宣伝行動



トークセッションにて
現場の実態を訴えました

次回は・・・第9回
～介護で働くあなたのための～ヘルパー講座

6月12日(日)13:30～15:30

医療労働会館2階会議室B

「正しいオムツの当て方」(予定)

月替わりお土産は・・・フルーツサンド♪
是非ぜひお越しください\(^▽^)/

介護ではたらくあなたのための

ヘルパー講座 第3回

Paper craft

今回のテーマは **折り紙**

生活空間に手作りの癒しを～みんなでつくろう～

とき 2021年12月12日 13:00-15:00

ところ 東京労働会館 (ラパスビル) 地下中会議室

講師 ばばどの よしえ
馬場園 愛恵 さん

(介護福祉士 日本折紙協会認定講師)

参加費 組合員：無料 その他：500円
氏名【 】連絡先【 】

お申込みはFAXまたは
メールでお願いします

FAX) 03-3876-3173

e-mail)

mail@tokyo-iroren.net

月替わりお土産付き

今回は…きてのお楽しみ♪

